



連合徳島

vol. 278

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088(655)4105
fax. 088(655)4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- 2月15日(水) 「連合白書」学習会(労働福祉会館別館5階ホール)
- 2月16日(木)～17日(金) 第37回部落解放・人権徳島地方研究集会(グランヴィリオホテル・他各会場)
- 3月3日(金) 2017春季生活闘争勝利3・3徳島県総決起集会(藍場浜公園)
- 3月4日(土)～5日(日) 徳島県中小労働対策本部第26回定期総会・一泊研修会(阿波観光ホテル)

2017春闘すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」

長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を

「経済の自律的成長」をはかり、「2%程度要求基準」を設定

2017春季生活闘争は「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をめざし、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘いである。

2017春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会は12月13日に労働福祉会館別館5階ホールで開かれ、各構成組織から71人が参加した。

新居会長代行の開会挨拶の後、宮本中小労働対策本部議長が総会議長に選出された。主催者を代表し森本会長が「2017春季生活闘争は、いわゆるアベノミクスの幻想から脱却し、労使の知恵と努力を集結して『経済の自律的成長』をめざすとともに、社会の安定性の確保に向けて、この間生み出してきた『底上げ・底支え』『格差是正』の流れを継続し、さらに広がりを持たせるための闘いである。同時に、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から『働き方』『働かせ方』の見直しを進めることも重要である。」とあいさつ。

基本的な考え方は、「経済の自律的成長」をはかるためには、賃上げ要求水準は、2%程度を基準とし、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め4%程度とする。中小共闘においては、中小組合の平均賃金を基準とした引き上げ額をベースとしたうえで、連合加盟組合平均賃金との格差の拡大を解消する水準を設定する。すなわち、連合加盟組合全体平均賃金水準の2%相当額との差額を上乘せし金額を賃上げ水準目標(6000円)とし、賃金カーブ維持分(1年・1歳間差)(4500円)を含め、総額で10500円以上を目安に賃金引き上げを求め、また、非正規雇用労働者の時給引き上げ要求水準については、「誰もが時給1000円」を掲げるとともに、37円の時給引き上げを要求水準とすることとした。とりわけ、中小・地場組合の早期妥結に向けて構成組織間に密接な共闘体制と連携、情報公開を進めていくこと等を説明。具体的には、①賃金カーブ維持分の確保と賃金還元・格差是正の要求②規模間・男女間・地域間格差の是正に向けた個別賃金水準重視の要求③中小の賃上げ要求については、地域ミニマム運動によって集約された組合員の賃金実態をもとに到達賃金水準を要求し、「賃金水準の絶対値」にこだわる。④企業内最低賃金の協定締結拡大、水準の引き上げ、初任給の社会水準確保⑤一時金の水準向上による年取確保等を、すべての組合が取り組むべき課題とした。

また、1月以降の行動計画や闘争体制なども確認し、森本会長が共闘会議議長に就任した。松本副会長の閉会挨拶後、森本共闘会議議長の団結ガンパローで発足総会を終了した。



2017春闘共闘会議議長に就任した森本会長



各構成組織・各団体から71人が参加



すべての働く者の処遇改善に向け、団結ガンパロー

2017春季生活闘争 県共闘会議発足総会

2017春季生活闘争行動日程

2017. 02. 03
2017春闘徳島県共闘会議

月日	曜日	行 動 内 容
11月25日	金	※第74回中央委員会(2017春季生活闘争方針決定)
12月13日	火	2017春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会
22日	木	※第1回中央闘争委員会
1月10日	火	※2017「連合白書」学習会
19日	木	※第2回中央闘争委員会
28日	土	※2017四国ブロック春季生活闘争推進会議(中小労働運動交流集会)～29日(日)
2月1日	水	第1次春闘キャンペーン(県下全域・地協協宣など)
3日	金	※2017春季生活闘争・闘争開始宣言2・3中央総決起集会 2017春季生活闘争開始宣言徳島集会
7日	火	第1次春闘キャンペーン(JR徳島駅前街宣行動)
9日	木	なんでも労働相談ダイヤル(2/9～2/11) ※連合「雇用の不安・雇止め不安はありませんか? ハート・アルバイト・契約・派遣などで働く人たちの連合労働相談ホットライン」～11日(土)
15日	水	第3回五役・第2回執行委員会 連合白書学習会
16日	木	※第3回中央闘争委員会
20日	月	連合四国ブロック政策担当者会議 *賃上げ基礎データ調査集約(2月10日まで) *賃上げ要求集約(2月17日まで)
1月～2月		※連合・経営者団体との協議
3月1日	水	第2次春闘キャンペーン(県下全域・地協協宣など)
2日	木	※第4回中央闘争委員会
3日	金	2017春季生活闘争勝利徳島県総決起集会(藍場浜公園 18:00)
4日	土	中小労働対策本部第26回定期総会・一泊研修学習会(～5日) 3.8国際女性デー-徳島駅前行動 3.8国際女性デー-徳島集会
6日	月	※2017春季生活闘争・政策制度要求実現3.6中央集会
7日	火	徳島県要請交渉
8日	水	労働局要請交渉 ※3.8国際女性デー-全国行動・中央集会
9日	木	経営者四団体要請交渉
10日	金	2017春闘勝利徳島県公務員サービス労働者総決起集会
12日	日	2017syuntoふれあいファミリーデー
13日	月	先行組合回答ゾーン～17日(金)
25日	土	中堅・中小集回答ゾーン～31日(金)
31日	金	※2017春季生活闘争・共闘推進集会
4月7日	金	2017中小春闘勝利 未解決組合支援促進徳島県総決起集会

※ 連合本部・四国ブロック行動



全国一斉キャンペーン 労働相談ダイヤルで駅前街宣行動

連合徳島は、12月の「クラソコアゲ応援団」キャンペーンとして、全国一斉集中労働相談ダイヤル「STOP!!長時間労働あなたへの働き方は大丈夫?」周知する街宣行動を12月5日にJR徳島駅前で行い、各構成組織から30人が参加し、街頭宣伝とビラ配布活動を実施した。

冒頭、連合徳島副会長・公務労協藤岡議長から「公務労協基本条例は国が定めた『公共サービス基本法』と関連する条例であり、各地で制定が進んでいる

『公契約条例』とは、車の両輪にあたり、誰もが安心して暮らせる公正・公平な社会づくりの第一歩である。地方公共団体の事業・業務の民間委託の広がり、競争入札の拡大が進む中、委託料や入札価格が大幅に低下している。その結果、委託・入札企業に働く労働者の賃金・労働条件の低下や雇用不安を引き起こすだけでなく、委託企業の安定的、継続的な事業実施を困難にさせ、地方公共団体が提供する行政サービスの質に関わって、ときに住民生活への大きな混

乱や被害をもたらす。また、大手企業が安価で委託を請け負うことは、もともと地元根ざして活動している地域企業の衰退につながり、地域の経済、雇用にダメージを与えることになりかねない。その時、公務員労働者は最終的にセーフティネットの役割を担う必要がある。『官製ワーキングプア』の問題がとりざたされる中、労働者の賃金を守り、雇用を安定させる公契約条例の必要性はますます増している。と強く訴えた。

道行く人にアピールを行う弁士ら



連合徳島 3地協

運動方針を承認



中央地協・宮本議長があいさつ

西部地協・大西議長の発声で団結ガンパロー三唱

南部地協・松村議長があいさつ

第48回衆議院議員選挙の勝利へ

連合徳島中央地域協議会

12月14日労働福祉会館において連合徳島中央地域協議会第7回委員会を開催した。

尾田副議長の開会あいさつに始まり、宮本議長から

「①第24回参議院議員選挙への支援お礼、②組織拡大強化に対する、現状認識と認識の共有から5万人連合徳島への覚悟と勇気を肝に銘じ取り組もう。」と主催者あいさつ。連合徳島島事務局長、四国労働金庫河村徳島営業本部長、連合徳島議員ネットワーク庄野県議会議員から来賓あいさつを頂いた。

2016年度活動経過報告、2016年度会計報告、2016年度会計監査報告を一括報告し、満場の拍手で承認された。

議事に入り、第1号議案「2017年度活動計画(案)第2号議案」2017年度予算(案)第3号議案「2017年度役員(案)」が執行部から提案され、満場の拍手で承認された。福田幹事から第7回委員会宣言(案)を読み上げ提案し、全員の拍手により確認した。

小谷副議長の閉会あいさつ後、宮本議長の「団結ガンパロー」三唱で第7回委員会を終了した。

連合徳島西部地域協議会

連合徳島西部地協は、12月7日に東みよし町の黒屋で第23回地協委員会を開き、役員・地協委員含め42人が参加した。

冒頭、大西議長があいさつし、来賓として連合徳島の島事務局長をはじめ、今治労働池田支店長、高井県議会議員、平田・天羽・竹内

の三好市議会議員からそれぞれ挨拶を頂いた。報告事項では、2016年度活動報告、会計報告、会計監査報告が満場の拍手で承認された。議事では、2017年度〜2018年度活動方針、2017年度予算、2017年度の取り組みとして①夏休みフェスティバル、②ゆとり癒しのウォーキング、③平和を守る闘い、④協賛・共済事業、⑤女性委員会の取り組み、⑥役員

の補充が提起、承認された。3名の欠員に対し3名の新役員を補充した。そして、地協委員会宣言が採択され、最後に大西議長の団結ガンパローで閉会した。

連合徳島南部地域協議会

連合徳島南部地協は12月16日ロイヤルガーデンホテルにて第12回地協委員会を開催した。冒頭、松村議長は「安倍政権の独裁政治によ

って安心安全の社会とはますます程遠い状況に向かっている。民心に正しく訴えれば来たる衆議院選での勝利は充分にある、総力を挙げてがんばりましょう」と力強く訴えた。

続いて連合徳島・田北副

連合徳島地域ユニオン 第8回定期大会

2009年に結成され、誰でも1人から入れる労働組合である連合徳島地域ユニオン第8回定期大会が12月18日、連合徳島会議室で開かれ、地域ユニオンに加盟する労働組合等8人が参加した。

冒頭、島執行委員長は「連合は、雇用の安定・質の向上と社会のセーフティーネット機能の強化を通じた国民の将来不安の払拭が不可欠であるとして『働くことを軸とした安心社会』の実現をめざしている。連合徳

島も第28回中間期大会において、組織拡大行動として、5万人連合徳島の実現を最大課題として取り組むことを確認した。連合徳島地域ユニオンにおいては、徳島ペプシコーラ販売労働組合と港運送労働組合が新たな仲間として加入したが、連合徳島全体の組織人員は、年約200名規模で減少しているのが現状である。しかし、8割を超える雇用労働者は、労働組合のない職場で悩みを抱えたまま働いているのが現状であり、私たち連合には、『クラシノココア応援団RENGOキヤンペーン』『街頭行動や』『職場から始めよう運動』、『なんでも相談ダイヤル』を通じて、組織化へと結びつけていく責務がある。』とあいさつ。

青年委総会

2017活動方針満場一致で承認

12月17日労働福祉会館で連合徳島2016青年委員会総会を開催し、40名が参加した。

近藤事務局長の開会挨拶の後、秋本代議員(JP労働組)が総会議長に選出された。小畑委員長が「今、電通の長時間労働における自殺問題など大きな社会問題になっている。経営者に都合のいいような施策をしてきた歪みに象徴するような事が出て

きている。われわれ労働組合がしなければいけないことは、労働基準法違反が起こった場合の対応はもちろんだが、事件を起こさせない対応も必要である。』とあいさつ。連合徳島森本会長は「年明けに噂されていた衆議院選挙も遠のいた観があるが、われわれが年間の一番の闘いとして重要な位置づけをしている2017春季生活闘争は年明けに本格化する。連



島執行委員長の発声で団結ガンパロー



40人が参加、意思統一

活動報告・活動方針等は田北書記長が提案。活動方針は、昨年までは『経済の好循環をめざす』テーマだったが、今年からは『経済の自律的成長』というテーマに変えた。労使が知恵を出し生産性を向上させることによって利益を労働者に分配していくシステムが必要である。それと合わせ格差是正を全国に広げていくことが大きな課題である。』と激励あいさつ。

総会は高浦事務局長が2016年度活動報告・会計報告、2017年の活動方針では幹事会の定期的な開催、青年委員会ニュースの発行、

連合徳島の基本行事に対する積極参加など、が提案され、満場の拍手で承認された。最後に新役員体制を確認し、小畑委員長の団結ガンパローで閉会した。